

2012年4月16日(月)の東海新報に 弊社の被災地支援の記事が掲載されました!

おいしさを元気づけ

パン・アキモト 仮設団地など訪問

陸前高田

栃木県那須塩原市の(株)パン・アキモト(秋元義彦社長)はこのほど、陸前高田市内の仮設住宅団地を訪問した。自社製品「パンの缶詰」の配布や揚げパン、ミニドーナツの実演とプレゼントを行い、おいしさを団地の入居者や地域住民を元気づけた。

同社はパンの製造、販売を手がけており、……パン・アキモトが揚げパンなどをプレゼントし、漁村センター

でつくりあげた長期保存可能なパン。備蓄食としても活用でき、スペースシャトル内の食料として宇宙にわたった実績もある。



今回は、被災地支援活動としての来市となり、秋元社長ら同社スタッフ14人が訪問。気仙町長部地区の二日市仮設住宅集会場、漁村センター、高田町の高田高校第2グラウンド仮設住宅集会場の3カ所を巡回し、パンの缶詰をはじめ、揚げたてパン、ドーナツを振る舞った。

各会場には、地域住民ら50〜100人が訪れ、同社のパンに舌鼓。秋元社長自ら揚げパンの調理に当たり、

市民らと交流を図った。揚げたて熱々のパンに、味わった人たちは「パンおいしかったね。おかげさまでありがとうございました」「おいしいパンをいただき、笑顔の花が咲きました」とニコリ。

日本国際飢餓対策機構のハンガー・ゼロ大使としても活動する秋元社長は「皆さんの頑張り、粘り強さからたくさん学びを得た。東北の復興まで、できる支援を続けていきたい」と誓っていた。